



新潟県

新潟県の経済動向

令和3年7月12日

県内経済の概況（4月～6月）

県内経済は、新型コロナウイルス感染拡大による影響などから、一部で依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある。

- ・ 個人消費・物価は、持ち直している。
- ・ 住宅投資は、弱い動きとなっている。
- ・ 公共投資は、減少している。
- ・ 設備投資は、持ち直しつつある。
- ・ 生産は、持ち直している。
- ・ 企業は、改善の動きがみられる。
- ・ 雇用は、一部に持ち直しの動きがみられる。

【参考】

○新潟県景気動向指数（令和3年6月30日）

令和3年4月の景気動向指数（CI）の一致指数は、97.5となり、前月から6.3ポイント上昇し、4か月連続の上昇となった。

○国内経済の動向（内閣府「月例経済報告」令和3年6月24日）

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

- ・ 個人消費は、このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、緩やかな増加が続いている。
- ・ 生産は、持ち直している。
- ・ 企業収益は、感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。企業の業況判断は、厳しさが残るなかで、持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。
- ・ 消費者物価は、横ばいとなっている。

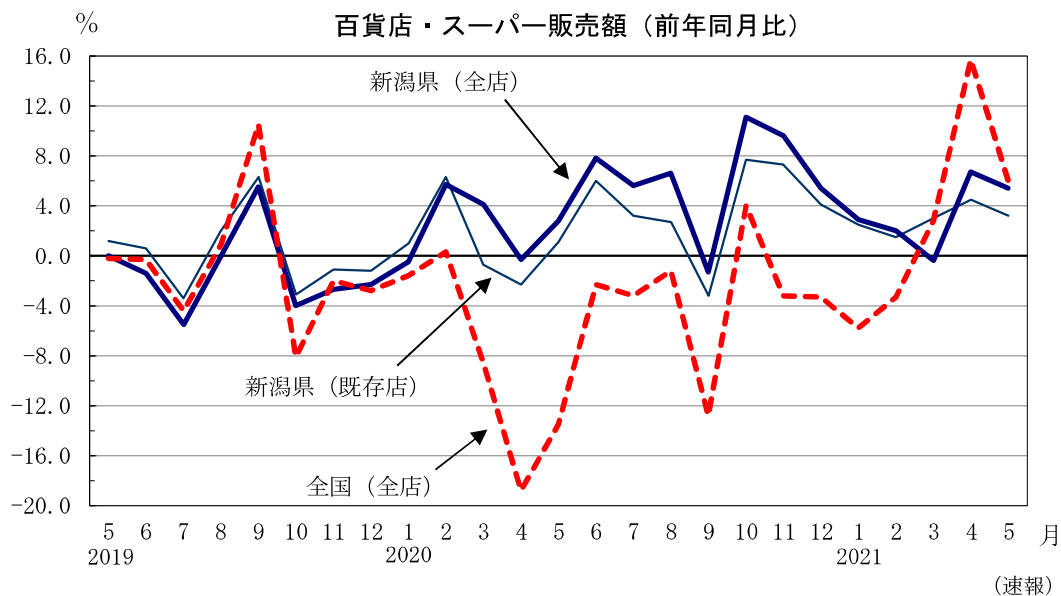
新潟県総務管理部統計課
 担当：調査解析班 神丸・菅原
 電話：025-280-5122
 （内線 2448）
ngt010190@pref.niigata.lg.jp

1 個人消費・物価 ～持ち直している～

○ 百貨店・スーパー販売額

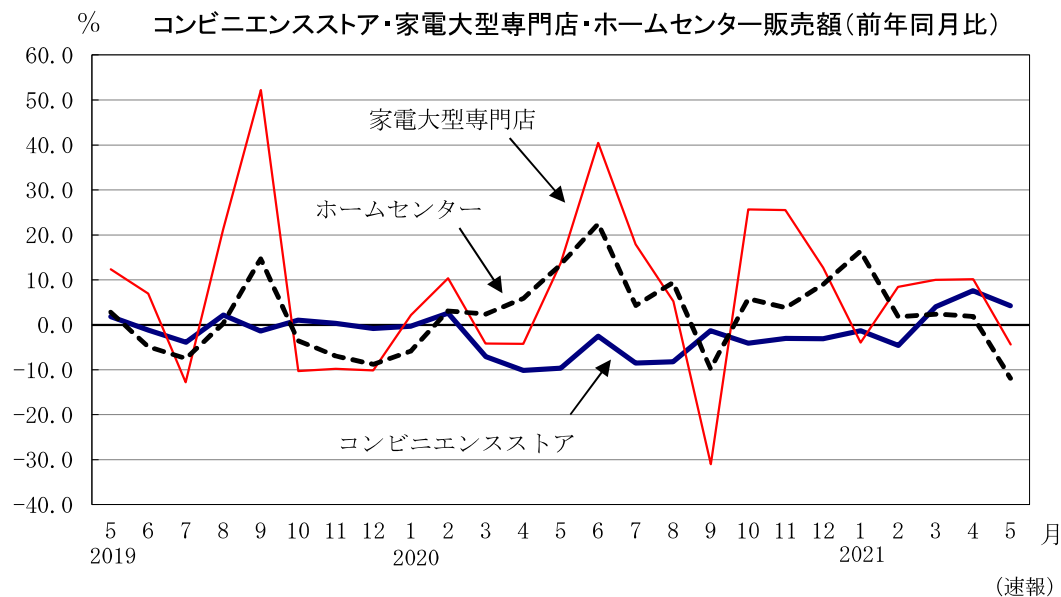
5月の百貨店・スーパー販売額の速報値は、全店では332億円となり、前年同月比5.4%増加し、2か月連続で上回った。既存店では同3.2%増加し、8か月連続で上回った。

なお、4月の確報値は、全店で312億円となり、前年同月比6.7%増加し、既存店では同4.5%増加と、いずれも上回った。



○ コンビニエンスストア・家電大型専門店・ホームセンター販売額

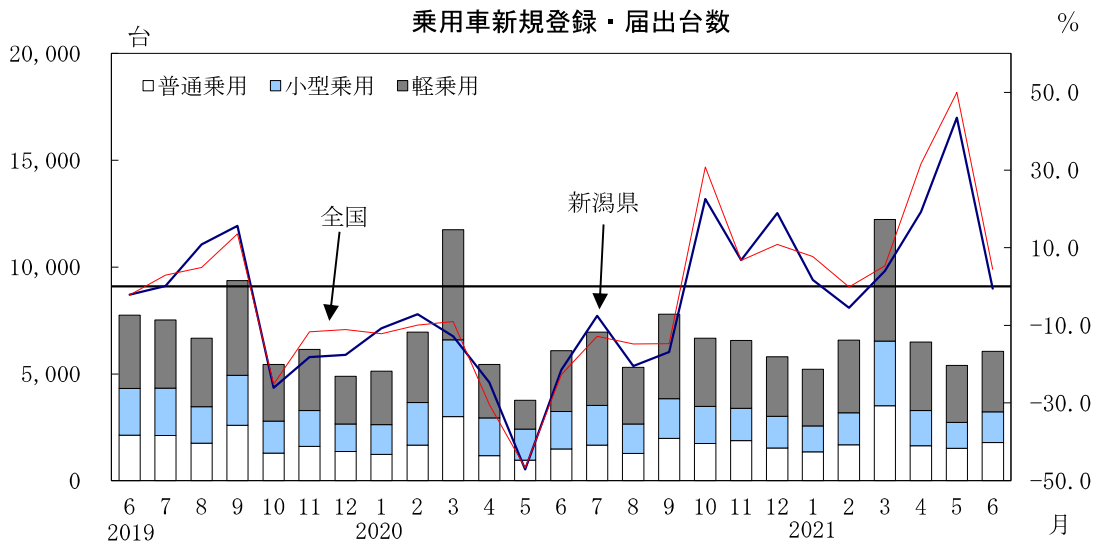
コンビニエンスストア販売額の5月速報値は145億円となり、前年同月比4.2%増加し、3か月連続で上回った。また、家電大型専門店販売額の5月速報値は54億円となり、同4.4%減少し、4か月ぶりに下回った。ホームセンター販売額の5月速報値は90億円となり、同11.9%減少し、8か月ぶりに下回った。



○ 乗用車（含む軽）新規登録・届出台数

6月の乗用車新規登録・届出台数は6,061台となり、前年同月比0.5%減少し、4か月ぶりに下回った。

車種別では、小型乗用が前年同月比17.6%、軽乗用車が同1.0%それぞれ減少し、普通乗用が同20.6%増加した。



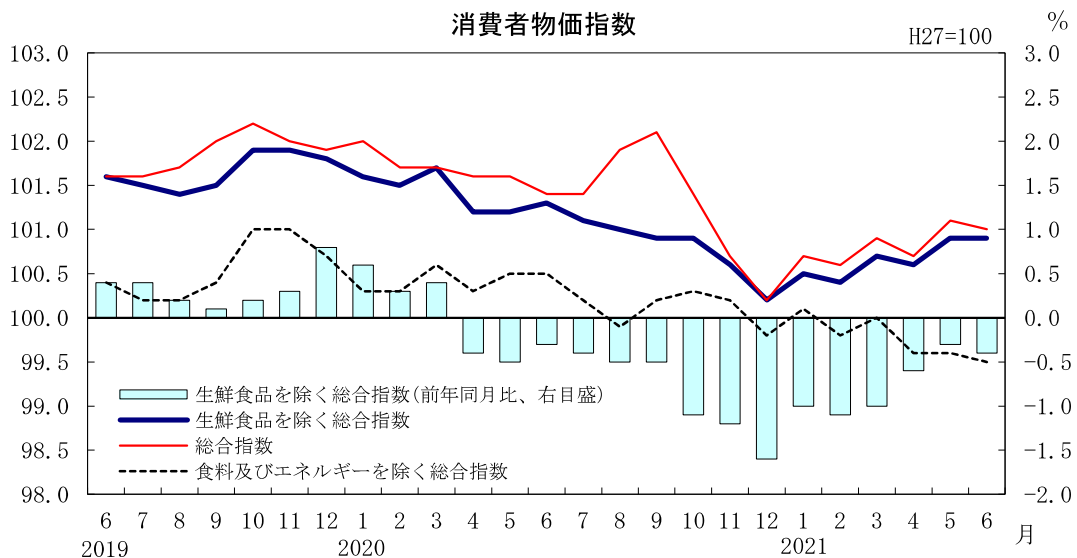
注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

○ 消費者物価指数

6月の新潟市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は100.9となり、前年同月比0.4%下落し、1年3か月連続で下回った。

費目別では、自動車等関係費、教養娯楽サービスなどが前年同月比で上昇し、通信、家賃などが下落した。

なお、総合指数は101.0で前年同月比0.3%下落し、9か月連続で下回った。食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合は99.5で、同1.0%下落し、11か月連続で下回った。



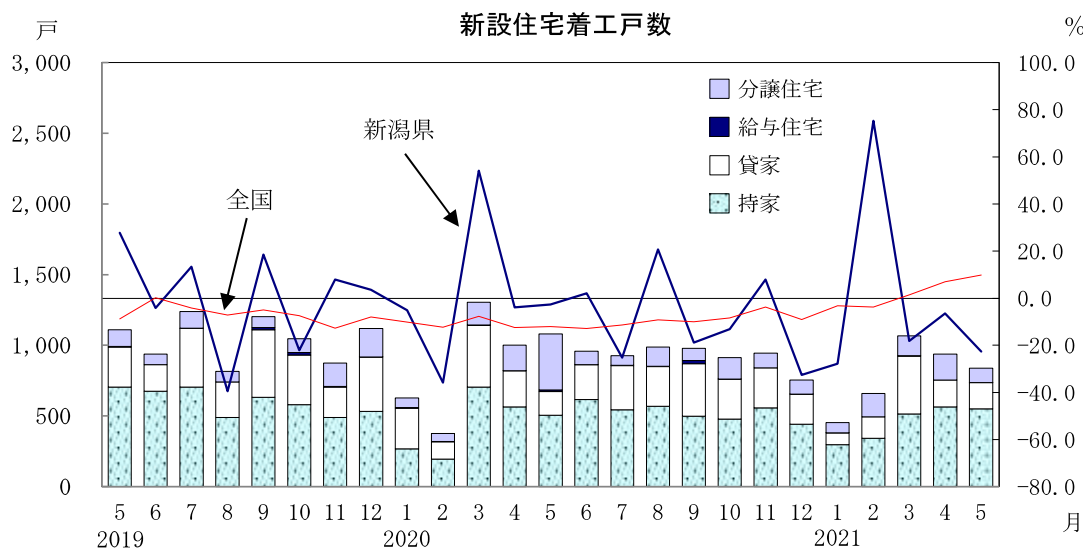
注：折れ線グラフは指数で左目盛、棒グラフは前年同月比で右目盛

2 住宅投資 ～弱い動きとなっている～

○ 新設住宅着工戸数

5月の新設住宅着工戸数は837戸となり、前年同月比22.7%減少し、3か月連続で下回った。

利用関係別では、分譲が前年同月比74.9%減少し、持家が同8.7%、貸家が同10.8%それぞれ増加した。



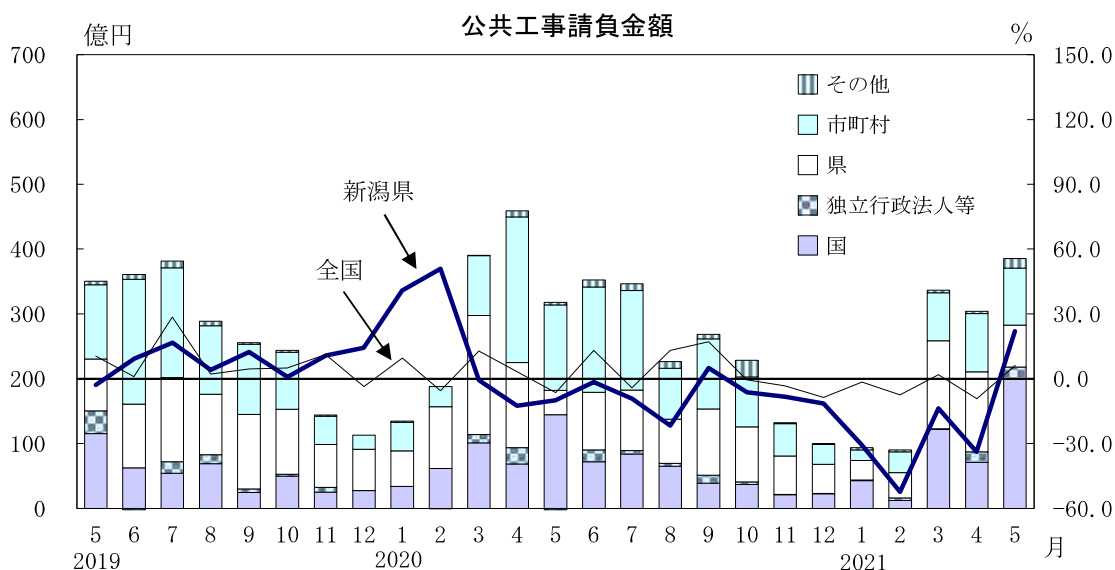
注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

3 公共投資 ～減少している～

○ 公共工事請負金額

5月の公共工事請負金額は385億円となり、前年同月比22.0%増加し、8か月ぶりに上回った。

発注者別では、国は前年同月比38.1%、県は同71.6%それぞれ増加し、市町村は同33.1%減少した。



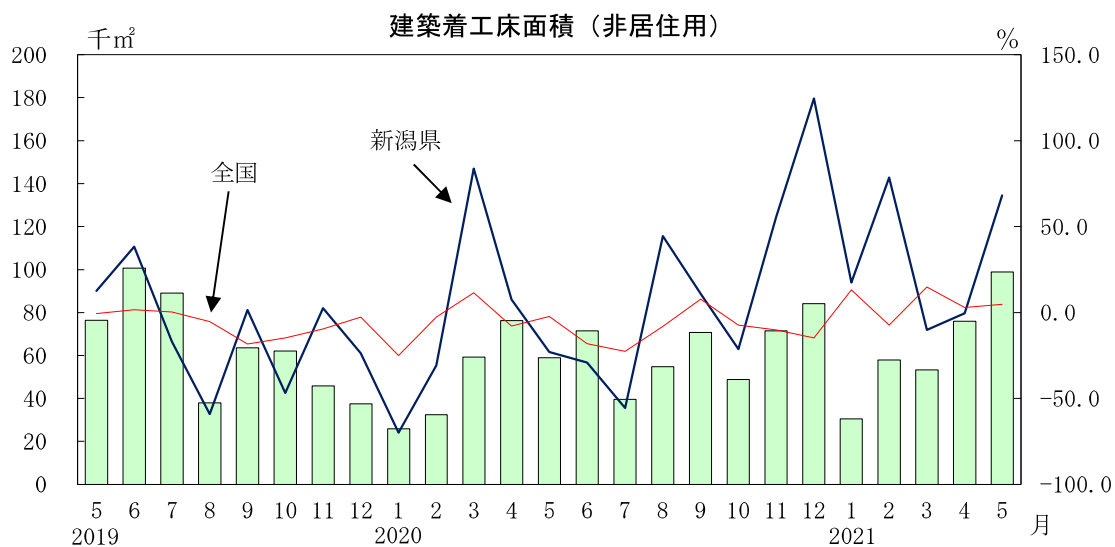
注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

4 設備投資 ～持ち直しつつある～

○ 建築着工床面積（非居住用）

5月の建築着工床面積は、98,921㎡となり、前年同月比68.1%増加し、3か月ぶりに上回った。

用途別にみると、卸売業、小売業用、宿泊業、飲食サービス業用などが前年同月を上回り、運輸業用、農林水産業用などが下回った。

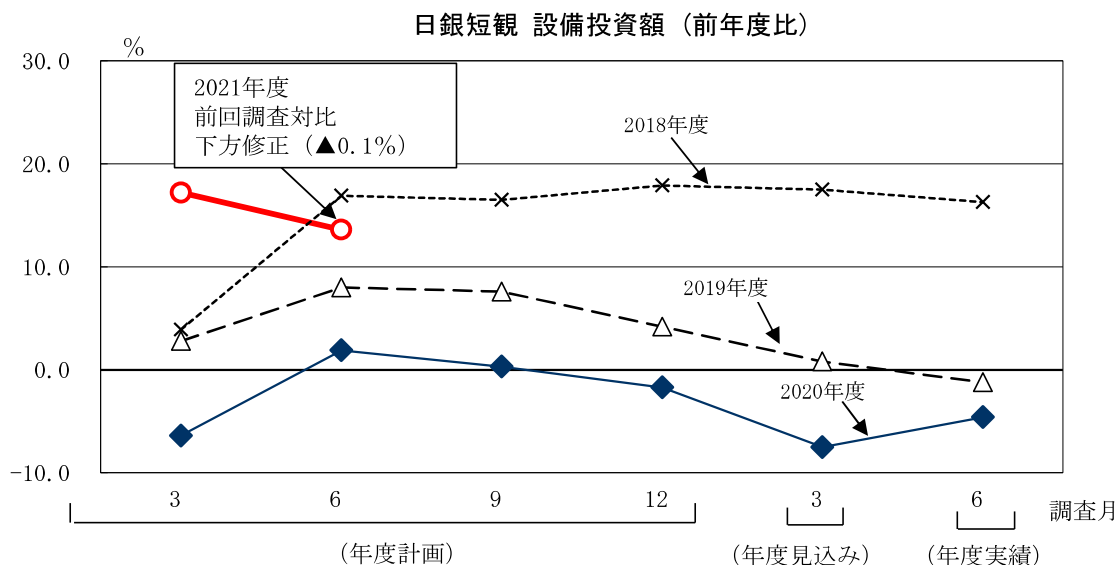


注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

○ 企業の設備投資額

2020年度の企業の設備投資額（日銀短観・2021年6月調査）は、全産業で前年度比4.6%減少となった。非製造業では前年度を15.8%上回るものの、製造業で14.9%下回る実績であった。

また、2021年度計画は、全産業で前年度比13.6%増加の計画となっている。非製造業では前年度を7.7%下回るものの、製造業では28.2%上回る計画である。前回調査対比では、全産業で下方修正となった。



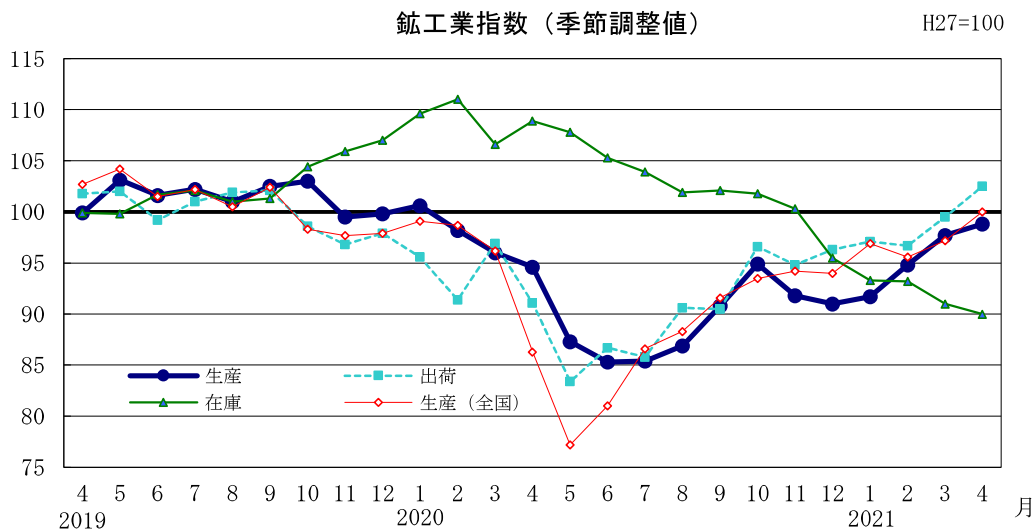
5 生産 ～持ち直している～

○ 鉱工業指数

4月の鉱工業指数（季節調整値）は、生産指数が98.8となり、前月比1.1%上昇し、4か月連続で上昇した。前年同月比（原指数）では4.5%上昇と2か月連続で上回った。

業種別にみると、化学工業が前月比13.4%、電気・情報通信機械工業が同8.5%、金属製品工業が同2.7%それぞれ上昇するなど15業種中10業種が上昇した。

なお、出荷指数は102.5となり2か月連続で上昇し、在庫指数は90.0となり7か月連続で低下した。

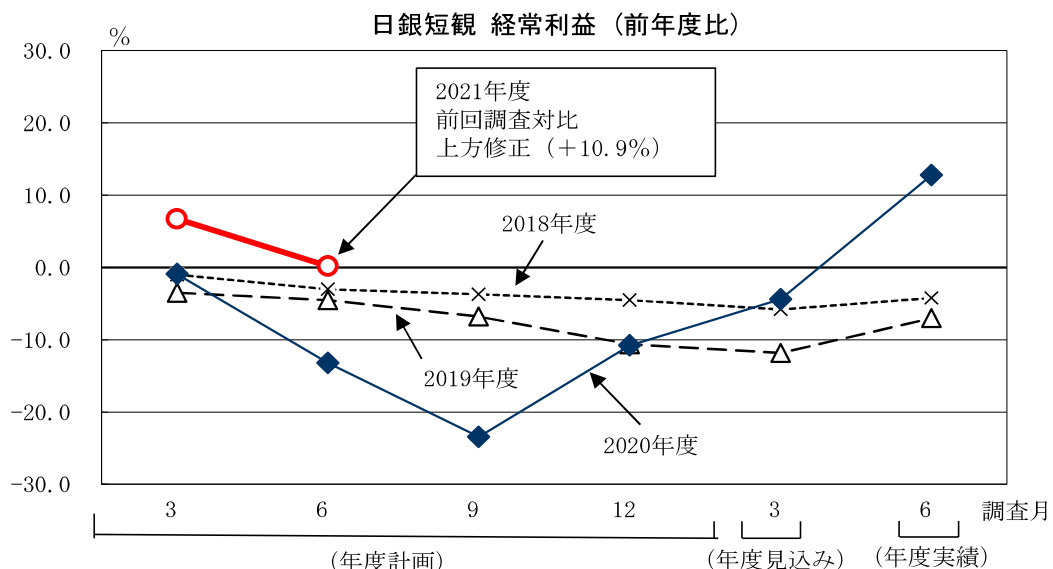


6 企業 ～改善の動きがみられる～

○ 企業収益

2020年度の企業の経常利益（日銀短観・2021年6月調査）は、全産業で前年度比12.8%増益となった。製造業が17.9%増益、非製造業が9.4%増益と、ともに前年度を上回る実績であった。

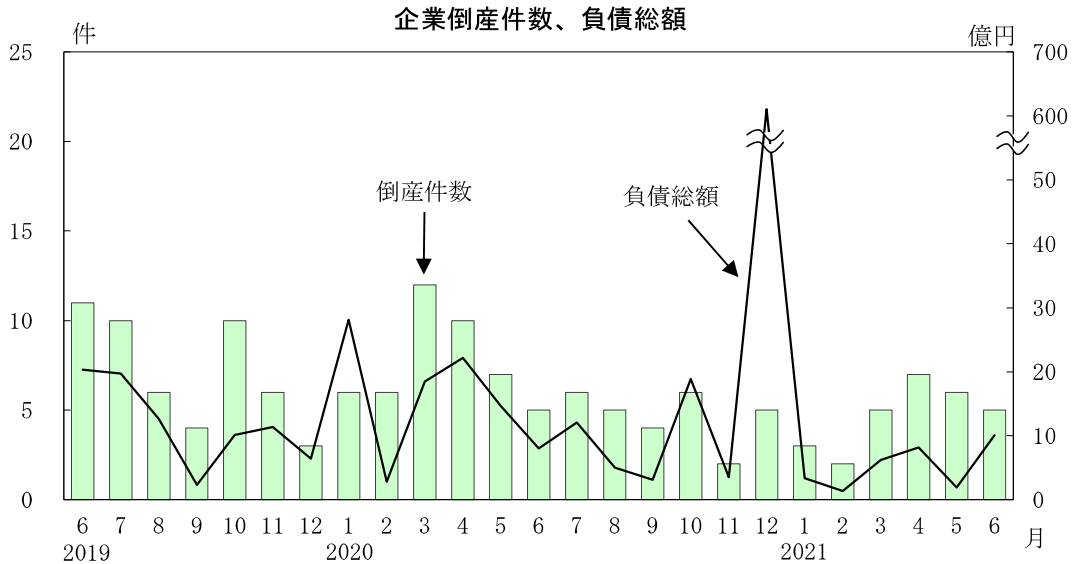
また、2021年度計画は、全産業で前年度比0.2%増益の計画となっている。製造業では14.2%増益と、前年度を上回るものの、非製造業では9.7%減益と、前年度を下回る計画である。前回調査対比では、全産業で上方修正となった。



○ 企業倒産

6月の倒産件数（負債額1,000万円以上）は5件となり、前年と同水準となった。

また、負債総額は10億円で前年同月比25.8%増加し、6か月ぶりに上回った。負債総額10億円以上の大型倒産はなかった。

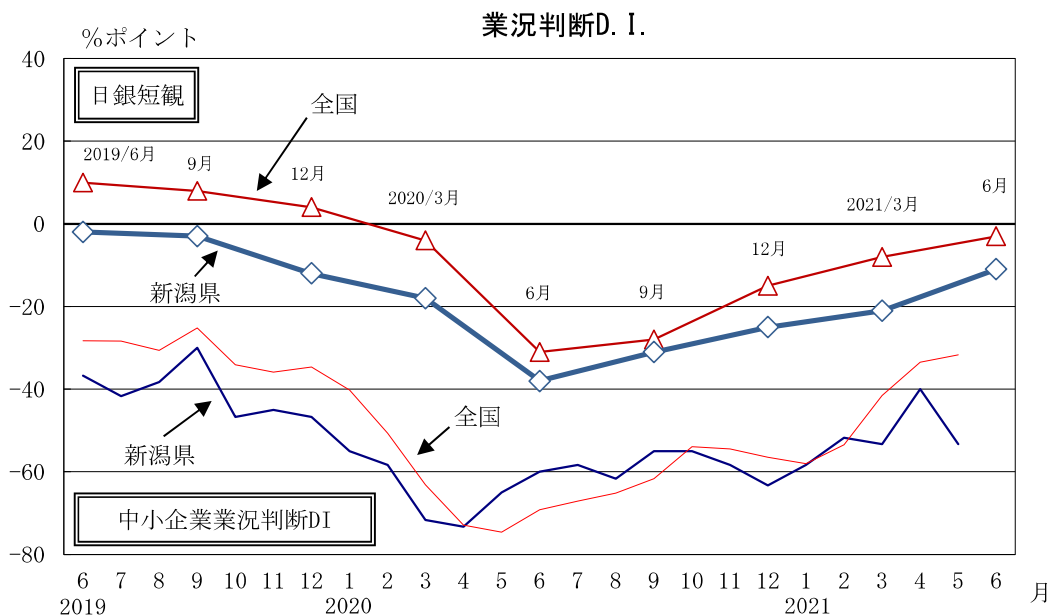


注：棒グラフは倒産件数で左目盛、折れ線グラフは負債総額で右目盛

○ 企業の景況感

企業の景況感については、日銀短観（2021年6月調査）の業況判断D.I.は、▲11%ポイントとなり、前回調査から10.0%ポイント改善した。

また、5月の中小企業業況判断D.I.は▲53.3%ポイントとなり、前月から13.3%ポイント悪化し、2か月ぶりに悪化した。

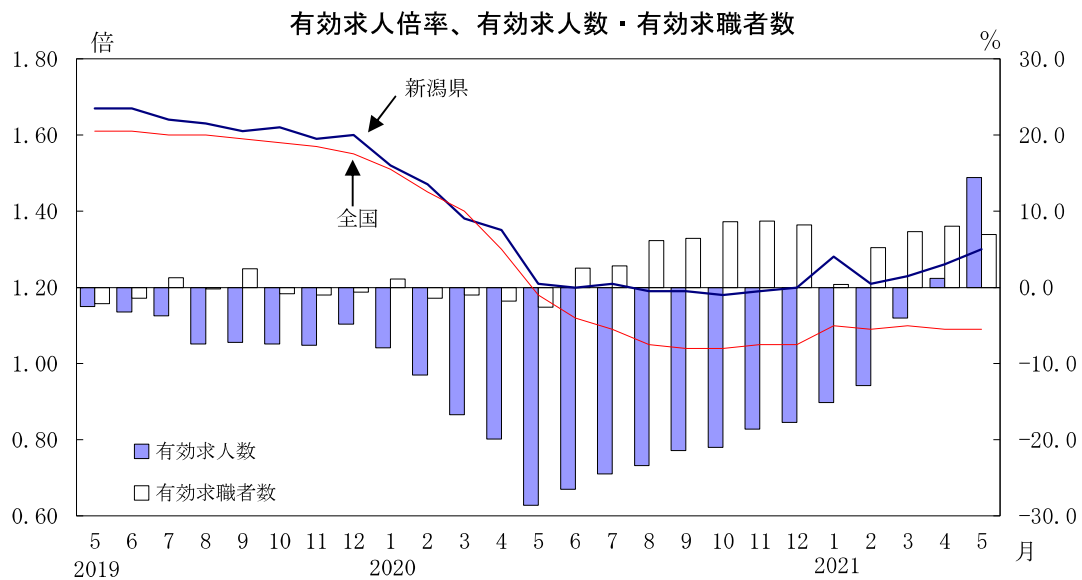


7 雇 用 ～一部に持ち直しの動きがみられる～

○ 有効求人倍率

5月の有効求人倍率（パート含む全数・季節調整値）は1.30倍で、前月から0.04ポイント上昇し、3か月連続で上昇した。

有効求人数は、前年同月比14.4%増と2か月連続で増加した。また、有効求職者数は、同6.9%増と12か月連続で増加した。



注：折れ線グラフは有効求人倍率で左目盛、棒グラフは前年同月比で右目盛